

公立病院経営強化プラン

団体コード	109088
施設コード	001

本様式作成日	令和 6年 3月 29日
--------	--------------

団 体 名	吾妻広域町村圏振興整備組合							
プ ラ ン の 名 称	吾妻広域町村圏振興整備組合立中之条病院改革プラン							
策 定 日	令和 6 年 3 月 27 日							
対 象 期 間	令和 6 年度 ~ 令和 9 年度							
病 院 の 現 状	病 院 名	中之条病院	現在の経営形態			指定管理者制度（利用料金制）		
	所 在 地	群馬県吾妻郡中之条町大字五反田3891						
	病 床 数	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること
診 療 科 目	科目名	精神科・神経科					0	
①地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割 （一）役割・機能の最適化と連携の強化	現状における当該病院の果たす役割	当院は吾妻郡内唯一の精神科入院病床を持った病院である。利根沼田地区にも精神科入院病床を持った精神科病院はなく地理的に不便さがあり実際の入院・通院患者は少ないが広範囲において入院治療・外来治療が必要な患者を受け入れている。近年の社会情勢に伴い、精神疾患も多種多様な疾患を呈した患者が多く見られる。高齢化に伴い数十年前は認知症患者が病院内で数名であったが、現在は一病棟を認知症の患者が占めている。地域の老人施設で対応困難になった認知症患者を受け入れ症状改善した時は施設又は自宅へ戻れるよう努めている。						
	経営強化プラン最終年度における当該病院の具体的な将来像	精神疾患を持つ患者の地域生活、認知症患者とその家族を支える医療を確保するため、現行の外来治療及び入院治療を受け入れる体制を維持する。専門医療機関として、他医療機関との連携、福祉・行政のネットワーク形成に積極的に関わり、専門病院としての立場からそれらのネットワークに協力し貢献する。						
	令和7年度（地域医療構想の推計年）における当該病院の機能ごとの病床数	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること
	経営強化プラン最終年度における当該病院の機能ごとの病床数	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること
	②地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	地域包括ケアシステムの構築にあたり、精神医療面での役割を明確にしたうえでケアマネージャーや行政の介護担当者等高齢者の地域生活を支援する方々との連携を図る。入院患者及び支援が必要な通院患者に対し、精神障害者支援に関わる行政担当者や民生委員等を招集した支援会議を開き、状況に変化がある毎に情報交換し本人の状態に合ったサービスを提供出来るよう本人とも面談して希望する在宅生活を共有し、スムーズな移行に向けての調整を行い、通院でのフォローも含め地域支援のネットワークを構築する役割を担う。						
	③機能分化・連携強化の取組	当該公立病院の状況						
	構想区域内の病院等配置の現状	<input type="checkbox"/> 施設の新設・建替等を行う予定がある <input type="checkbox"/> 病床利用率が特に低水準（令和元年度から、令和3年度まで過去3年間連続して70%未満） <input type="checkbox"/> 経営強化プラン対象期間中に経常黒字化する数値目標の設定が著しく困難 <input type="checkbox"/> 地域医療構想や今般の新型コロナウイルス感染症対応を踏まえ、病院間の役割分担と連携強化を検討することが必要である <input type="checkbox"/> 医師・看護師等の不足により、必要な医療機能を維持していくことが困難						
	当該病院に係る機能分化・連携強化の概要	<時 期>	<内 容>					
(注) 1 詳細は別紙添付可 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	令和6年度～令和9年度	経営形態は現行維持である。医療体制としては県精神科救急医療システム輪番病院として月一回担当病院の役割を果たしており、再来患者の受け入れは24時間365日行っており受入体制は整っている。入院患者の急変や高齢者の転倒など緊急事態には専門病院に受診している。常に他病院との連携強化を図っている。						

④医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標										
	1) 医療機能に係るもの	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	備考	
	地域救急貢献(率)	0.40%	0.50%	0.50%	0.50%	0.50%	0.50%	0.50%		
	2) 医療の質に係るもの	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	備考	
	患者満足度(%)	-	-	-	-	-	-	-		
	在宅復帰率(%)	40	29	42	40	40	40	40		
	3) 連携の強化等に係るもの	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	備考	
	紹介率(%)	34.4	29.9	30	30	30	30	30		
4) その他	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	備考		
⑤一般会計負担の考え方 (繰出基準の概要)	現行精神病院での必要経費を総務省の定める繰出基準に基づき、構成町村より繰り入れている。将来的に建て替えの時期が来た場合は、組合や構成町村で検討、調整の上繰り入れる予定である。									
⑥住民の理解のための取組	吾妻広域町村圏振興整備組合のホームページ、中之条病院のホームページ、地元祇園祭のチラシ広告、医師による吾妻保健福祉事務所主催の毎月の所内相談・毎月の郡内6ヶ町村へのこころの健康相談、医師による中之条町・東吾妻町教育支援委員会への出席、医師による草津町認知症相談 吾妻地区ではまだ精神障害者に対する偏見はあると思われる。開院当初の昭和53年には、地域の住民を多く採用して理解を深めるよう努めていたようである。現在では幸い地域住民からの理解は厚く、地区の行事に参加させていただいたり、積極的に話し合いの場を設け交流を絶やさないように努めている。									
① 医師・看護師等の確保の取組	「医師法」においては、医師・薬剤師・看護師・准看護師は基準以上を保っている。非常勤医師の派遣においても派遣元である群馬大学とも連携強化を図っている。令和5年度常勤医師において残業時間は1人1ヶ月平均0.2時間であり、以前もこれからも残業は殆んど無く、非常勤医師は残業時間はゼロである。 「精神病棟入院基本料の施設基準」においても基準以上である。常勤医師は県外の学会にも参加している。無資格者でも、准看学校・高等看護学院に通学希望者には奨学金制度がある。									
	② 臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保の取組	派遣元である群馬大学より若手医師の派遣を受けている。								
	③ 医師の働き方改革への対応	医師の時間外労働は殆んど無く現状では有給休暇も取得できている。								
③ 経営形態の見直し	経営形態の現況 (該当箇所に✓を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 地方公営企業法財務適用 <input type="checkbox"/> 地方公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input checked="" type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合								
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に✓を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人(非公務員型) <input type="checkbox"/> 地方公営企業法全部適用 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 介護医療院、老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行								
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付可 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容> 現行の経営形態では組合は毎年純利益を計上しており、黒字経営で安定している。指定管理者の吾妻郡医師会とも5年毎に見直し、更新している。							

<p>(4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組</p>	<p>吾妻保健福祉事務所及び吾妻郡医師会を中心とし、各医療機関との連携や役割分担は行われている。又、感染症に対する事業継続計画（BCP）の整備も行い、感染防護具等の備蓄も随時行っている。COVID-19の流行により、院内での感染拡大を防ぐ努力をしていたが、令和4年度はクラスターが発生してしまい対応に苦慮した。患者に医療を提供する重要性や、それを確保するための十分な準備が必要であることを改めて認識させられた。COVID-19が5類に変更後の感染対策もさほど変更なく、院内への持ち込み防止が第一である。対策としては職員が体調不良時には無理な出勤をせず勤務交代が取れるように人員配置しておく。院内感染指針を充実させ院内研修等を実施して職員に周知させて、手洗い・手指消毒を徹底する。マスク着用、面会制限等を継続している。原町赤十字病院内感染対策カンファレンスに参加し、他病医院の意見も取り入れ、院内感染防止対策に努めている。</p>																																																																																																																																																																																																						
<p>(5) 施設・設備の最適化</p> <p>① 施設・設備の適正管理と整備費の抑制</p>	<p>建替えや大規模改修については、個別施設計画に沿って判断し、高額な医療機器の導入の予定はない。また、整備費の抑制については、患者の安全性及び快適な療養環境の確保に係る設備の修繕を優先とし、その他の優先順位については、設置の目的や用途、建物の状況、利用状況やコスト、劣化や損傷の程度などをもとに判断している。</p>																																																																																																																																																																																																						
<p>② デジタル化への対応</p>	<p>マイナンバーカードの健康保険証については、患者及び職員に対して院内掲示板を活用した情報共有並びに病院ホームページにマイナ受付の協力の掲示を行い、利用促進に努めている。</p>																																																																																																																																																																																																						
<p>(6) 経営の効率化</p> <p>① 経営指標に係る数値目標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="181 607 453 640">1) 収支改善に係るもの</th> <th data-bbox="453 607 580 640">3年度 (実績)</th> <th data-bbox="580 607 708 640">4年度 (実績)</th> <th data-bbox="708 607 836 640">5年度</th> <th data-bbox="836 607 963 640">6年度</th> <th data-bbox="963 607 1091 640">7年度</th> <th data-bbox="1091 607 1219 640">8年度</th> <th data-bbox="1219 607 1347 640">9年度</th> <th data-bbox="1347 607 1513 640">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="213 640 453 674">経常収支比率 (%)</td> <td data-bbox="453 640 580 674">103</td> <td data-bbox="580 640 708 674">99</td> <td data-bbox="708 640 836 674">100</td> <td data-bbox="836 640 963 674">100</td> <td data-bbox="963 640 1091 674">100</td> <td data-bbox="1091 640 1219 674">101</td> <td data-bbox="1219 640 1347 674">101</td> <td data-bbox="1347 640 1513 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="213 674 453 707">修正医業収支比率 (%)</td> <td data-bbox="453 674 580 707">95</td> <td data-bbox="580 674 708 707">91</td> <td data-bbox="708 674 836 707">92</td> <td data-bbox="836 674 963 707">92</td> <td data-bbox="963 674 1091 707">92</td> <td data-bbox="1091 674 1219 707">92</td> <td data-bbox="1219 674 1347 707">92</td> <td data-bbox="1347 674 1513 707"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="213 707 453 741"></td> <td data-bbox="453 707 580 741"></td> <td data-bbox="580 707 708 741"></td> <td data-bbox="708 707 836 741"></td> <td data-bbox="836 707 963 741"></td> <td data-bbox="963 707 1091 741"></td> <td data-bbox="1091 707 1219 741"></td> <td data-bbox="1219 707 1347 741"></td> <td data-bbox="1347 707 1513 741"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="213 741 453 775"></td> <td data-bbox="453 741 580 775"></td> <td data-bbox="580 741 708 775"></td> <td data-bbox="708 741 836 775"></td> <td data-bbox="836 741 963 775"></td> <td data-bbox="963 741 1091 775"></td> <td data-bbox="1091 741 1219 775"></td> <td data-bbox="1219 741 1347 775"></td> <td data-bbox="1347 741 1513 775"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="181 797 453 831">3) 収入確保に係るもの</td> <td data-bbox="453 797 580 831">3年度 (実績)</td> <td data-bbox="580 797 708 831">4年度 (実績)</td> <td data-bbox="708 797 836 831">5年度</td> <td data-bbox="836 797 963 831">6年度</td> <td data-bbox="963 797 1091 831">7年度</td> <td data-bbox="1091 797 1219 831">8年度</td> <td data-bbox="1219 797 1347 831">9年度</td> <td data-bbox="1347 797 1513 831">備考</td> </tr> <tr> <td data-bbox="213 831 453 864">1日当たり入院患者数 (人)</td> <td data-bbox="453 831 580 864">193</td> <td data-bbox="580 831 708 864">188</td> <td data-bbox="708 831 836 864">183</td> <td data-bbox="836 831 963 864">184</td> <td data-bbox="963 831 1091 864">185</td> <td data-bbox="1091 831 1219 864">186</td> <td data-bbox="1219 831 1347 864">188</td> <td data-bbox="1347 831 1513 864"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="213 864 453 898">1日当たり外来患者数 (人)</td> <td data-bbox="453 864 580 898">26</td> <td data-bbox="580 864 708 898">26</td> <td data-bbox="708 864 836 898">26</td> <td data-bbox="836 864 963 898">26</td> <td data-bbox="963 864 1091 898">26</td> <td data-bbox="1091 864 1219 898">26</td> <td data-bbox="1219 864 1347 898">26</td> <td data-bbox="1347 864 1513 898"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="213 898 453 931">病床利用率 (%)</td> <td data-bbox="453 898 580 931">87</td> <td data-bbox="580 898 708 931">84</td> <td data-bbox="708 898 836 931">82</td> <td data-bbox="836 898 963 931">83</td> <td data-bbox="963 898 1091 931">83</td> <td data-bbox="1091 898 1219 931">83</td> <td data-bbox="1219 898 1347 931">84</td> <td data-bbox="1347 898 1513 931"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="213 931 453 965"></td> <td data-bbox="453 931 580 965"></td> <td data-bbox="580 931 708 965"></td> <td data-bbox="708 931 836 965"></td> <td data-bbox="836 931 963 965"></td> <td data-bbox="963 931 1091 965"></td> <td data-bbox="1091 931 1219 965"></td> <td data-bbox="1219 931 1347 965"></td> <td data-bbox="1347 931 1513 965"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="181 987 453 1021">3) 経費削減に係るもの</td> <td data-bbox="453 987 580 1021">3年度 (実績)</td> <td data-bbox="580 987 708 1021">4年度 (実績)</td> <td data-bbox="708 987 836 1021">5年度</td> <td data-bbox="836 987 963 1021">6年度</td> <td data-bbox="963 987 1091 1021">7年度</td> <td data-bbox="1091 987 1219 1021">8年度</td> <td data-bbox="1219 987 1347 1021">9年度</td> <td data-bbox="1347 987 1513 1021">備考</td> </tr> <tr> <td data-bbox="213 1021 453 1055"></td> <td data-bbox="453 1021 580 1055"></td> <td data-bbox="580 1021 708 1055"></td> <td data-bbox="708 1021 836 1055"></td> <td data-bbox="836 1021 963 1055"></td> <td data-bbox="963 1021 1091 1055"></td> <td data-bbox="1091 1021 1219 1055"></td> <td data-bbox="1219 1021 1347 1055"></td> <td data-bbox="1347 1021 1513 1055"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="213 1055 453 1088"></td> <td data-bbox="453 1055 580 1088"></td> <td data-bbox="580 1055 708 1088"></td> <td data-bbox="708 1055 836 1088"></td> <td data-bbox="836 1055 963 1088"></td> <td data-bbox="963 1055 1091 1088"></td> <td data-bbox="1091 1055 1219 1088"></td> <td data-bbox="1219 1055 1347 1088"></td> <td data-bbox="1347 1055 1513 1088"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="213 1088 453 1122"></td> <td data-bbox="453 1088 580 1122"></td> <td data-bbox="580 1088 708 1122"></td> <td data-bbox="708 1088 836 1122"></td> <td data-bbox="836 1088 963 1122"></td> <td data-bbox="963 1088 1091 1122"></td> <td data-bbox="1091 1088 1219 1122"></td> <td data-bbox="1219 1088 1347 1122"></td> <td data-bbox="1347 1088 1513 1122"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="181 1189 453 1223">4) 経営の安定性に係るもの</td> <td data-bbox="453 1189 580 1223">3年度 (実績)</td> <td data-bbox="580 1189 708 1223">4年度 (実績)</td> <td data-bbox="708 1189 836 1223">5年度</td> <td data-bbox="836 1189 963 1223">6年度</td> <td data-bbox="963 1189 1091 1223">7年度</td> <td data-bbox="1091 1189 1219 1223">8年度</td> <td data-bbox="1219 1189 1347 1223">9年度</td> <td data-bbox="1347 1189 1513 1223">備考</td> </tr> <tr> <td data-bbox="213 1223 453 1256">現金保有残高 (千円)</td> <td data-bbox="453 1223 580 1256">1,958,597</td> <td data-bbox="580 1223 708 1256">1,871,360</td> <td data-bbox="708 1223 836 1256">1,792,361</td> <td data-bbox="836 1223 963 1256">1,817,361</td> <td data-bbox="963 1223 1091 1256">1,837,000</td> <td data-bbox="1091 1223 1219 1256">1,862,000</td> <td data-bbox="1219 1223 1347 1256">1,890,000</td> <td data-bbox="1347 1223 1513 1256"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="213 1256 453 1290"></td> <td data-bbox="453 1256 580 1290"></td> <td data-bbox="580 1256 708 1290"></td> <td data-bbox="708 1256 836 1290"></td> <td data-bbox="836 1256 963 1290"></td> <td data-bbox="963 1256 1091 1290"></td> <td data-bbox="1091 1256 1219 1290"></td> <td data-bbox="1219 1256 1347 1290"></td> <td data-bbox="1347 1256 1513 1290"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="213 1290 453 1323"></td> <td data-bbox="453 1290 580 1323"></td> <td data-bbox="580 1290 708 1323"></td> <td data-bbox="708 1290 836 1323"></td> <td data-bbox="836 1290 963 1323"></td> <td data-bbox="963 1290 1091 1323"></td> <td data-bbox="1091 1290 1219 1323"></td> <td data-bbox="1219 1290 1347 1323"></td> <td data-bbox="1347 1290 1513 1323"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="213 1323 453 1357"></td> <td data-bbox="453 1323 580 1357"></td> <td data-bbox="580 1323 708 1357"></td> <td data-bbox="708 1323 836 1357"></td> <td data-bbox="836 1323 963 1357"></td> <td data-bbox="963 1323 1091 1357"></td> <td data-bbox="1091 1323 1219 1357"></td> <td data-bbox="1219 1323 1347 1357"></td> <td data-bbox="1347 1323 1513 1357"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="181 1391 453 1447">上記数値目標設定の考え方</td> <td colspan="8" data-bbox="453 1391 1513 1447"> <p>指定管理者制度（利用料金制）の経営形態で黒字経営を維持継続が目標である。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1473 453 1619"> <p>② 経常収支比率及び修正医業収支比率に係る目標設定の考え方 (対象期間中に経常黒字化が難しい場合の理由及び黒字化を目指す時期、その他目標設定の特例を採用した理由)</p> </td> <td colspan="9" data-bbox="453 1473 1513 1619"> <p>精神病院として安定な経営が第一であり、収入確保の取り組みを実施し、黒字経営を継続させる。</p> </td> </tr> </tbody></table>									1) 収支改善に係るもの	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	備考	経常収支比率 (%)	103	99	100	100	100	101	101		修正医業収支比率 (%)	95	91	92	92	92	92	92																				3) 収入確保に係るもの	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	備考	1日当たり入院患者数 (人)	193	188	183	184	185	186	188		1日当たり外来患者数 (人)	26	26	26	26	26	26	26		病床利用率 (%)	87	84	82	83	83	83	84											3) 経費削減に係るもの	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	備考																												4) 経営の安定性に係るもの	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	備考	現金保有残高 (千円)	1,958,597	1,871,360	1,792,361	1,817,361	1,837,000	1,862,000	1,890,000																													上記数値目標設定の考え方	<p>指定管理者制度（利用料金制）の経営形態で黒字経営を維持継続が目標である。</p>								<p>② 経常収支比率及び修正医業収支比率に係る目標設定の考え方 (対象期間中に経常黒字化が難しい場合の理由及び黒字化を目指す時期、その他目標設定の特例を採用した理由)</p>	<p>精神病院として安定な経営が第一であり、収入確保の取り組みを実施し、黒字経営を継続させる。</p>								
1) 収支改善に係るもの	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	備考																																																																																																																																																																																															
経常収支比率 (%)	103	99	100	100	100	101	101																																																																																																																																																																																																
修正医業収支比率 (%)	95	91	92	92	92	92	92																																																																																																																																																																																																
3) 収入確保に係るもの	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	備考																																																																																																																																																																																															
1日当たり入院患者数 (人)	193	188	183	184	185	186	188																																																																																																																																																																																																
1日当たり外来患者数 (人)	26	26	26	26	26	26	26																																																																																																																																																																																																
病床利用率 (%)	87	84	82	83	83	83	84																																																																																																																																																																																																
3) 経費削減に係るもの	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	備考																																																																																																																																																																																															
4) 経営の安定性に係るもの	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	備考																																																																																																																																																																																															
現金保有残高 (千円)	1,958,597	1,871,360	1,792,361	1,817,361	1,837,000	1,862,000	1,890,000																																																																																																																																																																																																
上記数値目標設定の考え方	<p>指定管理者制度（利用料金制）の経営形態で黒字経営を維持継続が目標である。</p>																																																																																																																																																																																																						
<p>② 経常収支比率及び修正医業収支比率に係る目標設定の考え方 (対象期間中に経常黒字化が難しい場合の理由及び黒字化を目指す時期、その他目標設定の特例を採用した理由)</p>	<p>精神病院として安定な経営が第一であり、収入確保の取り組みを実施し、黒字経営を継続させる。</p>																																																																																																																																																																																																						

③目標達成に向けた具体的な取組（どのような取組をどの時期に行うかについて、特に留意すべき事項も踏まえ記入）	民間的経営手法の導入	現行の指定管理者制度（利用料金制）の継続
	事業規模・事業形態の見直し	平成27年度に病棟の入替改修工事を行い需要の多い老人病棟を15床拡充したので当面は現状を維持する。
	収入増加・確保対策	精神保健福祉士増員による訪問看護の再開と作業療法士の増員・看護補助者の増員での格上げ・理学療法士の導入も検討し、収入増加を検討する。
	経費削減・抑制対策	諸経費の削減の取り組みを検討する。
	その他	精神科・神経科の専門病院として医療圏内の病医院の協力・連携強化により、当初からの方針である地域精神医療・地域精神保健への貢献を目指す。
④経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画等	別紙1記載	
※点検・評価・公表等	策定プロセス（経営強化プラン策定にあたり、①庁内調整状況、②他の地方公共団体・関係医療機関等・専門家等との意見交換状況③議会・住民への説明状況等について記載すること）	吾妻広域町村圏振興整備組合理事会（構成6ヶ町村長）での説明報告 監査委員に報告・評価
	点検・評価等の体制（委員会等を設置する場合その概要）	吾妻広域町村圏振興整備組合理事長、吾妻広域町村圏振興整備組合事務局長・課長・担当者、中之条病院院長他役職者等で、点検・評価。
	点検・評価の時期（毎年〇月頃等）	毎年8月頃
	公表の方法	吾妻広域町村圏振興整備組合ホームページ 中之条病院ホームページ
その他特記事項	精神障害を持つ住民、高齢者が安心して医療を受けて暮らせる地域であり、地域精神医療の充実が最も大事である	

(別紙1)

団体名 (病院名)	吾妻広域町村圏振興整備組合(中之条病院)
--------------	----------------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

年度		3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
収 入	1. 医 業 収 益 a	988	963	942	947	952	957	967
	(1) 料 金 収 入	982	957	936	941	946	951	961
	(2) そ の 他	6	6	6	6	6	6	6
	うち他会計負担金 b							
	2. 医 業 外 収 益	82	81	83	85	87	89	89
	(1) 他会計負担金・補助金	58	59	63	65	66	68	68
	(2) 国 (県) 補 助 金							
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入							
	(4) そ の 他	24	22	20	20	21	21	21
	経 常 収 益 (A)	1,070	1,044	1,025	1,032	1,039	1,046	1,056
支 出	1. 医 業 費 用 c	1,036	1,054	1,024	1,030	1,037	1,041	1,050
	(1) 職 員 給 与 費 d	680	710	678	695	701	705	714
	(2) 材 料 費	146	152	146	145	146	146	146
	(3) 経 費							
	(4) 減 価 償 却 費	61	62	60	60	60	60	60
	(5) そ の 他	149	130	140	130	130	130	130
	2. 医 業 外 費 用	0	0	0	0	0	0	0
	(1) 支 払 利 息							
	(2) そ の 他							
	経 常 費 用 (B)	1,036	1,054	1,024	1,030	1,037	1,041	1,050
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	34	▲ 10	1	2	2	5	6	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)							
	2. 特 別 損 失 (E)							
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	34	▲ 10	1	2	2	5	6	
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金 (G)	1,672	1,662	1,663	1,665	1,667	1,672	1,678	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	2,141	2,043	1,948	1,972	1,990	2,013	2,040
	流 動 負 債 (イ)	46	53	50	50	50	50	50
	うち一時借入金							
	翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)							
	当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (エ)							
差引 不 良 債 務 (オ) [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]	▲ 2,095	▲ 1,990	▲ 1,898	▲ 1,922	▲ 1,940	▲ 1,963	▲ 1,990	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	103.3	99.1	100.1	100.2	100.2	100.5	100.6	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲ 212.0	▲ 206.6	▲ 201.5	▲ 203.0	▲ 203.8	▲ 205.1	▲ 205.8	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{c} \times 100$	95.4	91.4	92.0	91.9	91.8	91.9	92.1	
修 正 医 業 収 支 比 率 $\frac{a-b}{c} \times 100$	95.4	91.4	92.0	91.9	91.8	91.9	92.1	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{d}{a} \times 100$	68.8	73.7	72.0	73.4	73.6	73.7	73.8	
地 方 財 政 法 施 行 令 第 15 条 第 1 項 に より 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (H)	▲ 2,095	▲ 1,990	▲ 1,898	▲ 1,922	▲ 1,940	▲ 1,963	▲ 1,990	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	▲ 212.0	▲ 206.6	▲ 201.5	▲ 203.0	▲ 203.8	▲ 205.1	▲ 205.8	
病 床 利 用 率	86.5	84.2	82.1	82.5	83	83.4	84.3	

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
収 入	1. 企 業 債							
	2. 他 会 計 出 資 金							
	3. 他 会 計 負 担 金							
	4. 他 会 計 借 入 金							
	5. 他 会 計 補 助 金							
	6. 国 (県) 補 助 金							
	7. そ の 他							
	収 入 計 (a)	0	0	0	0	0	0	0
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)							
	前年度同意債で当年度借入分 (c)							
純計(a)-[(b)+(c)] (A)	0	0	0	0	0	0	0	
支 出	1. 建 設 改 良 費	49	17	18	20	20	20	20
	2. 企 業 債 償 還 金							
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金							
	4. そ の 他							
支 出 計 (B)	49	17	18	20	20	20	20	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	49	17	18	20	20	20	20	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	49	17	18	20	20	20	20
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額							
	3. 繰 越 工 事 資 金							
	4. そ の 他							
計 (D)	49	17	18	20	20	20	20	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)								
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	

1. 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
収 益 的 収 支	(0) 58	(0) 59	(0) 63	(0) 65	(0) 66	(0) 68	(0) 68
資 本 的 収 支	(0) 0						
合 計	(0) 58	(0) 59	(0) 63	(0) 65	(0) 66	(0) 68	(0) 68

(注)

- 1 ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。